

小さくても輝くまち 「はつらつ長瀬」 ～未来へつなぐ また訪れたくなる場所へ～



長瀬町役場
企画財政課 主幹 野原 徹

長瀬町の紹介

長瀬町の概要

人口(R7.4.1現在)
6,327人

町の概況

埼玉県の北西部、秩父地域の北東に位置し、中央を縦貫して流れる荒川の兩岸に細長く開けた、自然豊かな町

面積

30.43km²（そのうち約60%が山林）

★観光入込客数(令和5年)

3,057,312人



長瀬町へのアクセス(東京方面から)

- ・高速道路を利用:約1時間30分
(関越自動車道 花園IC→国道140号を秩父方面へ)
- ・鉄道を利用:約2時間～2時間30分
(池袋からJR線、東武東上線、西武線、秩父鉄道を利用)

長瀬町の特徴

1. 豊かな自然

町全域が県立長瀬玉淀自然公園区域に指定され、都心から約2時間でのんびりした時間が体験できる！特に岩畳を含む「長瀬」は国指定の名勝及び天然記念物。岩畳とは、地下深くの貴重な岩石が露出し、地表で観察することができるため「**地球の窓**」と言われている。

2. 都心から近くて便利

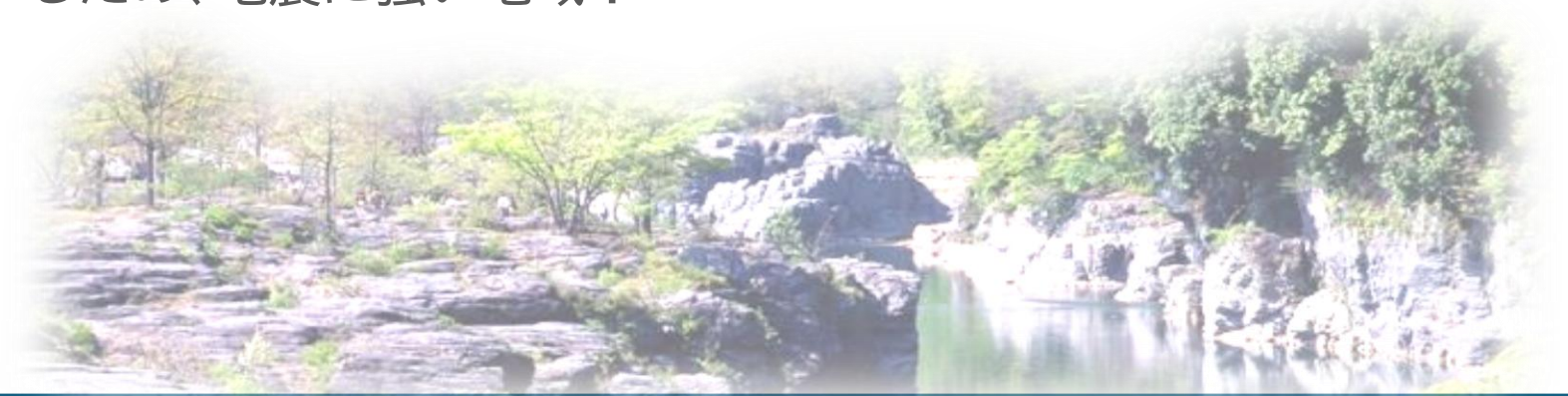
都心から一番近い田舎町として、アクセスもいいため、二拠点居住もおすすめ！

3. 遊びがいっぱい

川下り、登山や釣り、キャンプ、ラフティングなどのアクティビティ好きな方にもおすすめ！

4. 安心・安全

表層部分は固い地盤で覆われているため、地震に強い地域！



長瀬駅周辺の課題

提案の背景や経緯

【課題：オーバーツーリズム対策】

- 夏場や秋の観光シーズン、そして毎年8月15日に開催する船玉まつり当日は、長瀬駅周辺が非常に多くの観光客で混雑する。
- 加えて、長瀬駅周辺の駐車場に車を止めることができず、駅周辺の道は渋滞が発生している。
- こうした状況から、駅前の踏切は人と車でごった返しており、いつ事故が起きてもおかしくないような危険な状態となっている。



長瀬駅周辺の課題

- 道幅が狭く、車道と歩行者用道路との境界がない。
- 歩行者が線路の砂利に入ってしまうことがある。
- 車両の相互通行ができず、渋滞の原因となっている。
- 国道140号側から踏切を渡った先の駐車場へ止めるため、大型バスが通行する。



長瀬駅周辺の取組み

① 長瀬駅前踏切道の拡幅調整

- ・ 踏切道路の拡幅に向けて検討したが、工事金額が高額なため断念した。

② 歩車分離のグリーンベルト舗装

- ・ 踏切道の拡幅工事に多額の費用を要することから、より安価な歩車分離のグリーンベルト舗装を検討したが、実現には至らず。

③ 長瀬駅周辺に警備員配置

- ・ 観光シーズンや「船玉まつり」には、長瀬駅踏切前に警備員を配置する対策を実施。

※船玉まつりは毎年8月15日の1日開催だが、約7万人もの観光客が訪れる長瀬町の一大イベント。



長瀬町の目指す姿

長瀬町の目指す姿①

2030年までに…

長瀬駅を中心に、人も車も安全な、
活気あるまちになる！



長瀬町の目指す姿②

① 安心・安全な長瀬観光の実現

- ・ 駐車場を整備することで、観光シーズンに車両の踏切への進入件数減少につながる。
- ・ 踏切への進入件数が減少することで、長瀬駅周辺の混雑緩和、事故リスクの減少が見込める。
- ・ 駅周辺の混雑が緩和されることで、すべての人が安心安全で快適な観光をすることができる。

② 観光地「長瀬」の賑わいの増加

- ・ 広大な町有地を有効活用するため、駐車場を整備する。
- ・ 観光のオフシーズンには、駐車場の一部をイベントスペースとして活用するなど、通年での賑わい創出を目指す。

★安心・安全な観光を「**何度でも**」楽しみたいと思える、
「**また訪れたくなる場所**」を目指します！



長瀬町の想い

【目指す姿を達成するため、次の想いを持ってチャレンジします！】

- 観光の玄関口であり中心地である駅周辺が、安心・安全に通行できるようになることで、長瀬町での観光を楽しんでもらいたい。
- その方法として、大型バスも停車可能な駐車場を整備し拠点の一つとすることで、さらに多くの観光客に来ていただきたい。
- そして観光の中心地で生まれた賑わいを長瀬駅から町全体に広げていきたい。



ペルソナ①

【長瀬町に来ていただきたい人物像①】

長瀬 花(21)

家族:父(50)、母(47)、弟(19)

職業:大学生(3年)

大学の友達と一緒に浦和から観光に来ました。

SNS等でよく紹介されてる岩畳や花の里のアジサイ、
かき氷が楽しみ！自分も映える写真を撮りたいな♪

車を持っていないので電車で来たのですが、
長瀬駅の周りが歩きやすくて安心して楽しめました。また来てみたいです！



ペルソナ②

【長瀬町に来ていただきたい人物像②】

岩畳 太郎(36)

家族:妻(32)、長男(4)、長女(2)

職業:都内IT企業勤務

勤務先がテレワーク主体となったので、自然豊かな長瀬町に昨年引っ越しました。

観光目的の方が本当にたくさん町にいらっしゃるんですね。子どもと川に遊びに行くと、観光客を多く見かけます。

町が整備した大型バスの駐車場でのイベントに参加したら、初めてお会いする住民や観光客との交流ができて、家族が町の一員になれた気がします！



目指すための第一歩

目指すための第一歩

【安心・安全の実現のために…】

- ① 長瀬駅周辺を歩きやすくしたい！
- ② 車の交通量を削減したい！

【活気あるまちづくりのために…】

- ① 駐車場を活かして観光客や住民がふれあえるきっかけを作りたい！
- ② 駐車場から賑わいを広げていきたい！



町営駐車場の概要

① 町営駐車場予定地面積

- ・ 約6,600m²。

② 整備計画(予定)

- ・ 大型バスを中心に、普通車も駐車可能なものに整備予定。
- ・ 料金は近隣の事業者の価格を考慮して決定。
(町が競合他社にならないよう配慮)
※普通車であれば1日500円程度。

➤ 長瀬駅や岩畳、寶登山神社にも近く、駐車場に最適な立地です！

➤ 町営駐車場予定地～長瀬駅のマップ



【アクセス】

岩畳まで徒歩9分、寶登山神社まで徒歩15分

ご提案いただきたい事

ご提案いただきたい事

① 長瀬駅前混雑緩和策

- ・ 長瀬駅周辺を利用する方が安全に通行できるよう、町が進めている駐車場整備以外に、車両渋滞や混雑の緩和策を検討したい。

② 町営駐車場（予定）を活用した地域振興策

- ・ 地域住民間や住民と観光客が交流できる場を創出するため、駐車場の活用方法（イベントの開催等）を検討したい。



例えば・・・

- ① 公共交通機関を活用していただくための御提案
- ② 歩行者の移動を円滑にする方法の御提案
- ③ 町営駐車場（予定）で開催できるイベントの企画案
- ④ イベントに限らず、町営駐車場（予定）を活用した地域振興策の御提案



長瀬町が提供できるリソース

①町役場での調整支援

民間企業にとって、新規事業を行う場合には行政との折衝がつきもの。各部署との打ち合わせ等への調整をお手伝いします。

②町観光協会との調整

イベントの実施には観光協会員との協力が不可欠となります。スムーズな打合せが実施できるよう調整をお手伝いします。

③駐車場整備期間中の有効活用

駐車場の整備期間中であっても、予定地を有効活用できるように検討します。



まとめ

まとめ

長瀬町の想い

- ・ 長瀬観光を安心・安全に過ごしてもらいたい
- ・ 民間企業の皆様と共創して「イベント」を実施したい

長瀬町が困っていること

- ・ 船玉まつりや観光ハイシーズン中、長瀬駅前踏切では車の渋滞と人の往来が激しく、いつ事故が起きてもおかしくない状態となっている

企業側に求めること

- ・ 実現性の高い提案から、実証試験としての挑戦的な取り組みまで、幅広く募集いたします
- ・ 課題解決のために熱意をもって一緒に取り組んでいただきたい

長瀬町と共創するメリット

- ・ 町役場での調整支援
- ・ 他部署への横展開の支援
- ・ 取り組みに関する広報・PRの支援
- ・ 観光地での企業PRができます

